

壮族社会史研究：明清時代を中心として

著者	塚田 誠之
雑誌名	国立民族学博物館研究叢書
巻	3
発行年	2000-09-29
URL	http://hdl.handle.net/10502/4250

国立民族学博物館研究叢書

[3]

壮族社会史研究

明清時代を中心として

塚田誠之



Senri Ethnological Monograph 3

Social History of the Zhuang during the Ming – Qing Period
Shigeyuki Tsukada

©2000, Shigeyuki Tsukada

壮族社会史研究
明清時代を中心として
[目次]

序章 1

1. 「壮族」の概要 3
2. 中国南部民族史の先行研究における壮族の研究 4
3. 本書の位置付け 7
4. 本書の構成 8



【第1部】壮族の社会変動



【第1章】明代における壮族の移住と生態 15

序文 17

第1節◆明代における壮族の移住 18

1. 壮族の族源に関する先行研究 18
2. 明代における壮族の移住とその特徴 19
3. 移住の要因 25

第2節◆広西来住の初期における壮族の生態 29

1. 自然環境 29
2. 生業様式 31
3. 村落規模 32
4. 政治・社会体制 33

小結 34



【第2章】明清時代における壮族の佃農化に関する一考察 41

序文 43

第1節◆明代における壮族の承佃の開始とその背景 44

1. 開始時期 44
2. 背景 45

第2節◆承佃の進行と壮族・漢人地主の存在形態 48

1. 承佃の交渉方法 48
2. 壮族村落と佃作地との立地条件 49

3. 漢人地主の存在形態 51

第3節◆明代中期以降における壮族・漢人地主関係の尖鋭化と明末清初における統治権力の介入 53

1. 明代中期以降における壮族・漢人地主関係の尖鋭化 53

2. 明末清初における統治権力の介入 56

第4節◆清代における壮族の佃農化の進行 59

1. 壮族の佃農化 59

2. 居住形態の変化 60

3. 村落内社会体制の解体 61

4. 文化の変化 62

小結 63



[第3章] 明末清初の広西における壮族 ————— 73
王士性・黄之雋の著作の分析を中心に

序文 75

第1節◆直轄地の場合 80

1. 分布地域 80

2. 村落の立地条件と生業様式 80

3. 漢族との関係 81

4. 社会体制 84

5. 文化 85

第2節◆土官地域の場合 89

1. 統治権力との関係 89

2. 土官領における統治の状況 90

3. 土官地域における壮族の文化と漢文化の移入 91

小結 92



[第4章] 壮族の『寨老』に関する史的考察 ————— 99
清代以降の広西北部龍勝県龍脊地方を中心として

序文 101

第1節◆従来の研究 103

第2節◆龍脊の地理的概要 105

第3節◆諸民族の概要 110

第4節◆寨老の役割 113

1. 諸条件 113

2. もめごとの調停 115

3. その他の役割 116

第5節◆寨老とさまざまな「場」 118

1. 寨という「場」 118

2. 同姓集団という「場」 119

3. 「十三寨」という「場」 120

4. 紅瑶との関係 121

5. 漢族との関係 122

第6節◆寨老の歴史的变化と壮族社会 124

1. 寨間の対立——乾隆・嘉慶年間 124

2. 郷約と十三寨の一体化——道光～光緒初期 125

3. 光緒4年の潘日昌事件における十三寨の連帯 128

4. 「瑶民起義」と新行政システムの実施——1930年代 129

5. 解放後の寨老 132

小結 132



〔第5章〕 壮族による漢文化の受容と文化変化の概要 —— 139

序文 141

第1節◆直轄地の場合 142

第2節◆土官地域の場合 147

1. 服飾 147

2. 住居 149

3. 食文化 150

4. その他 150

小結 151



【第2部】 壮族と漢族との民族間関係



〔第6章〕 明清時代における壮族統治体制 ————— 157

序文 159

第1節◆明代における壮族の蜂起の弾圧と辺防体制 160

1. 明代中期以前における辺防体制 160
2. 明代中期以後における「狼兵」・「獞兵」の徴発 161
3. 蜂起の弾圧後の措置 164

第2節◆明末清初における壮族の編籍と徴税の政策 166

1. 税役の減免 166
2. 「獞老」制 168
3. 編籍の進行過程 170
4. 瑤族との相異 172

第3節◆明末清初における対壮族文教政策 173

1. 壮族の就学と応試 173
2. 伝統習俗の改革 176

小結 179



〔第7章〕 明清時代における漢族移住民と壮族との関係 — 187

序文 189

第1節◆移住の大勢と移住民の存在形態 191

1. 移住の大勢 191
2. 移住民の存在形態 203

第2節◆移住民と壮族との関係 212

1. 広西東南部・珠江流域 212
2. 広西北部・龍勝庁付近 218

3. その他の地域 221

小結 228



附編 _____ 241

[第8章] 壮族と漢族との通婚に関する史的考察 _____ 243

序文 245

第1節◆17世紀以前の概況 246

第2節◆17世紀末～18世紀初 247

第3節◆19世紀～20世紀初 250

小結 252



[第9章] 壮族・ヤオ（瑤）族と漢族との
政治・文化的関係の比較考察 _____ 255
1368-1949年における

序文 257

第1節◆来歴と生活形態 259

1. 来歴 259

2. 生活形態 260

第2節◆統治権力との関係 266

1. 壮族 266

2. ヤオ族 267

3. 統治権力・壮族・ヤオ族の間関係 273

第3節◆地主との関係 275

1. 壮族 275

2. ヤオ族 279

第4節◆移住民との関係 283

1. 商人 283

2. 工匠 287

3. 農民 289

第5節◆漢族との通婚と文化の移入 292

1. 通婚 292

2. 漢文化の移入 295

小結 299



終章 ————— 313

あとがき ————— 323

文献 ————— 327

索引 ————— 337